



道しるべ

第10号
平成23年10月

長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

一期生のつどいを開催しました。

6月27日（月）開催した『第2回“道守”認定者のつどい』をきっかけに道守集団の活躍の場、運営拠点の確保等について、H20年度の道守補認定者（一期生）で集まり今後の道守活動や道守の将来像について7月8日と29日にディスカッションを行ないました。

内容としましては「今後の道守運営及び活動について」、「認定者の継続活動」について道守認定者として可能な活動や拠点の確保、運営方法などの意見を出し合いました。

一期生から出た意見

第1回一期生のつどい（7月8日）

- ・ 岐阜のように、国交省にも積極的に参加してもらうことはできないか。
- ・ 県と道守の温度差を感じる。原因として技術者の育成だけが先走り、活用方法などが明確でない。
- ・ 活動行なう前段として、道守の県民への周知が必要。
- ・ 長崎県橋梁長寿命化委員会と道守とのつながりができることで大いに活動の意義が飛躍して、県からの補助を得やすくなるのではないか。
- ・ 道守認定者の明確な運営方法を提案していただければ協力できるところもある。
- ・ 受講生に県職員の参加が 1/3 程度あると対応も変わってくるのではないか。また県の道路維持課とも、うまく連携していかないと進まない。



第1回の様子

第2回一期生のつどい（7月29日）

道守継続について

- ・ 認定証の交付及び更新について事務局を NERC とした場合の認定（更新も含む）発行等は大学が行なっていくのか。
- ・ 今後は道守の養成よりも認定者の技術力を保持または向上するための継続教育に重点を置き道守の養成を行なう方向がよいのではないか。

道守継続のための活動について

- ・ ボランティアでその地区の路線または区間ごとに日常点検をさせてもらい、道守の能力を自治体にアピールをする。
- ・ 自治体は一般市民との協同について考えているので道守補助員を含むかたちで点検や道路美化を行なってはどうか。

その他

- ・ 今年の11月くらいに長崎県内の全市町が集まる会議があるので、そこで道守についてPRを行なってはどうか。
- ・ 次年度は講義の時間数の問題や開催場所の検討が必要ではあるが、受講対象者を自治体職員にしぼり養成を行なう。
- ・ 五島では県と市町、道守認定者が合同で点検を行なう予定がある。



第2回の様子

一期生の方々が、日常業務がお忙しい中集まっていたいただき、真剣に継続について活発な意見が出ました。その中でも、県や市町との連携した活動形態を構築すること、「道守」をもっと広く認知していただき活動しやすい環境を整備することが急務であります。

今後も県や認定者の方と一丸となって継続に向けて話し合っていきたいと思いますので、一期生以外の認定者の皆さまにも積極的な参加をお願い致します。

また、「道守」の継続等について議論したい課題がございましたら、道守養成ユニット事務局までご連絡下さい。日程等の詳細が決定しましたら、次回開催の案内をさせていただきます。

五島で橋梁点検に参加しました。

10月4日（火）に長崎県とNERC、道守認定者、(株)長大で合同点検を実施しました。実施場所は下五島の戸岐大橋で、過去の点検結果を参照し一年ごとの定点観測及び記録を行ないました。

この活動は、道守認定者のスキルアップやアピールの場として、道守活動を行ううえで重要な取り組みであります。今後も積極的に自治体の方と連携し点検活動等に参加させていただければと思います。

また、今回ご協力していただいた、五島振興局の田崎様、NERC、(株)長大のスタッフの皆さまに深謝いたします。



合同点検の様子



戸岐大橋をバックに記念撮影！

インフラ長寿命化体験実習を開催しました。

7月27日（水）に佐世保工業高校で、8月22日（月）～24日（火）に長崎大学で、長崎県建設業協会主催による地域産業のインフラ長寿命化体験実習で鹿町、佐世保、大村工業高校の生徒に『道守養成ユニット』の講義行いました。佐世保工業高校では、実際に近くの橋を対象に点検実習を行い、長崎大学においては、携帯電話を使用した橋の点検や実際に構造物の点検機器に触れ点検方法の演習を行いました。高校生の皆さんも実際に機器に触れたり、現場での実習を行ったなかで道路構造物の維持管理について興味深く、大変熱心に講義を受けていました。この体験実習で身に付けた知識を生かして就職や進学後の活動に役立てばと思います。



点検実習の様子



浸透探傷試験の様子

点検実習を行いました。

6月17日（金）、7月1日（金）に道守補コース（前期）で『コンクリート・鋼構造点検実習』を開催しました。実習では受講生20名に加え認定者などを含め20数名とたくさんの参加があり、大瀬戸・西海周辺の橋梁を対象に実施しました。

講師で来られた外部講師の上阪氏、阿部氏に点検のポイント等の話をしていただき、参加された皆様は大変熱心に耳を傾けられ、また実習中も点検や対策についての質疑などもあり活気ある有意義な点検実習となりました。



コンクリート構造物の点検風景



鋼構造物の点検風景



眼鏡橋で記念撮影をしました！

今回の点検実習で参加者が大変多く盛況に終えることができました。また、受講生アンケートから人数が多く十分に講師の方の話が聞き取れなかった等の意見をいただき、今後の点検実習について、受講者と認定者の参加方法について別途日程を調整する等の検討しております。点検実習の日程や参加方法が決定しだい認定者の皆様には連絡いたします。

行事・イベント案内

道守養成ユニット内で行われる行事・イベントについて紹介します。

・コンクリート構造物・鋼構造物点検実習の参加募集中

点検実習の参加者を募集します。参加対象者は以下の通りです。

平成20年度～22年度の道守、特定道守、道守補、道守補助員 認定者の方。

講義名	実施時期	実施場所	申込締切り
コンクリート点検実習	11月17日	対馬地区周辺	※未定
	11月中旬予定	佐世保地区周辺	※未定
鋼構造点検実習	11月18日	対馬地区周辺	※未定
	11月中旬予定	佐世保地区周辺	※未定

※ 詳細は内容が決定次第、道守HPに掲載します。

道守のみちのり(7月~9月)

当センターの主な活動内容を紹介します。

- ・ 11/07/01 松田センター長、中村副センター長、森田部門長が土木研究所を訪問
- ・ 11/07/08 第1回一期生のつどいを開催
- ・ 11/07/25 科学技術振興機構(JST) 清水氏、岸田氏がインフラ長寿命化センターを訪問
- ・ 11/07/27 長崎県建設産業人材育成連携事業(インフラ長寿命化体験実習)を佐世保工業高校にて開催(参加高校:鹿町、大村、佐世保工業高校)
- ・ 11/07/29 第2回一期生のつどいを開催
- ・ 11/07/29 特別講演を開催 題目:つなみによる構造物の被害
講演者:九州工業大学 幸左 賢二 教授
- ・ 11/08/02 松田センター長がアルカス佐世保で講演しました。
- ・ 11/08/06 道守補コース(前期)の認定試験を開催
- ・ 11/08/22~08/24
長崎県建設産業人材育成連携事業(インフラ長寿命化体験実習)を開催
- ・ 11/08/25 第2回道守運営協議会
- ・ 11/08/27 道守補助員大村会場を開催
- ・ 11/08/31 道守補コース(前期)合格発表、道守補コース(後期)受講者発表
- ・ 11/09/02 地域再生人材大学サミット in 能登に参加しポスター展示
- ・ 11/09/07 土木学会平成23年度全国大会第66回年次学術講演会にて成果発表
- ・ 11/09/08 平成23年度九州地区国立大学法人等技術職員スキルアップ研修で松田センター長が話題提供を行いました。
- ・ 11/09/15 NPO 大分県コンクリート診断士会 第11回技術講演会にて松田センター長が道守について講演しました。
- ・ 11/09/30 道守補コース(後期)を対馬、佐世保会場で開催

作成者の一言

今回、「道しるべ」の編集を担当しました渡部です。“道守”養成ユニットも本年度で4年目をむかえ、今後の道守活動や運営方針を決めなければならない時期が近づいています。長崎県や市町自治体とどう連携していくかが道守の将来にとって重要な課題であります。道守に関わる皆様と議論し、道守をより良い活動集団として活躍できる様にしていきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。私がインフラ長寿命化センターにきて1年が過ぎて、日常業務にもだいぶ慣れてきました。道守の将来がより充実したものとなる様、日々努力していきたいと思っております。

問合わせ先

長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2880 FAX 095-819-2879

Mail: michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp URL: <http://ilem.eng.nagasaki-u.ac.jp/michimori>



戦略推進費

※ 道守養成ユニットは文部科学省科学技術戦略推進費で運営しています。